

環境経営レポート 2023

【2022.04.01-2023.03.31】

株式会社 神戸ポートリサイクル
2023.06 発行 VOL.8

 資源に変えるチカラ、自然に還すチカラ。
大栄環境グループ



INDEX

【ご挨拶】・【環境経営方針】	3
【組織の概要】	4
【事業紹介】	5
【処理フロー図】	6
【施設の概要及び許可】	7
【収集運搬車両一覧】	8
【売上高及び処理量の推移】	9
【環境負荷の実績】	10
【環境経営目標及びその実績】	11
【エコアクション 21 組織図及び役割・責任・権限表】	12
【環境経営計画の取組とその結果】	13-15
【その他の環境活動報告】	16-17
【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無】	18
【緊急事態訓練・教育】	19
【代表者による全体の評価と見直し・指示】	20

■ご挨拶

代表取締役 寄尾 延夫

廃棄物問題の取組みは、いまや環境汚染の防止のみならず、資源問題と併せて論じられるようになってきました。すなわち廃棄物を有用な資源へと転じる「資源循環システム」の構築です。こうした資源循環型社会へのニーズを背景に、弊社は、神戸市によって策定された環境政策「エコテック 21 構想」のモデル事業として、民間 10 社の出資の下、2002 年 4 月に設立され、現在は大栄環境グループとなっています。また、神戸港が国土交通省による総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に一次指定されたことにより、港湾のバース隣接地におけるリサイクル施設となっています。施設の最大の特徴は、バースに隣接していることです。車よりも環境への負担が小さい海上輸送を容易に行なえるため、現在、国が進めるモーダルシフトにも大きく貢献できることでしょうか。港湾という特色ある立地を活用しつつ、リサイクル事業の発展とともに地球環境に、社会に、貢献できる事業展開を図ってまいります。



■環境経営方針

- 1.環境関連法規、地域の条例・協定を遵守し、コンプライアンスを実現するとともに、地域社会とのコミュニケーションを図り事業を展開していきます。
- 2.廃棄物の適正処理・リサイクル及び、事業系一般廃棄物の排出量削減に努めます。
- 3.社有車・重機類の経済的運転及び、電力消費量の抑制により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 4.水資源の節約に努めます。
- 5.場内緑化及び場内外美化活動を推進し、緑豊かで清潔な事業所づくりに取り組みます。
- 6.災害時における、災害廃棄物処理対応に貢献できるよう努めます。
- 7.全ての取組において、スパイラルアップ（継続的改善）に努めます。
- 8.環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、社内外に公開します。

制定：2015年4月1日
改訂：2020年4月1日
株式会社神戸ポートリサイクル
代表取締役 寄尾 延夫

■組織の概要

事業所名	株式会社 神戸ポートリサイクル
所在地	兵庫県神戸市中央区港島九丁目13番地
連絡先	TEL (078) - 303 - 0505 FAX (078) - 303 - 0607
会社ホームページ	https://kpr-japan.com/
創立年月日	2002年4月15日
代表者	代表取締役 寄尾 延夫
資本金	8,550万円
事業期間	4月～翌年3月末
従業員数	47名（男性：41名 女性：6名） <small>2023.3.31現在</small>
環境管理責任者	代表取締役 寄尾 延夫（兼任）
E A 2 1事務局	メフタ 恵美・佐藤 守・小松 昭宏・庄野 明
事業内容	産業廃棄物の中間処理業務 （認証範囲） 産業廃棄物の収集運搬業務 一般廃棄物の中間処理業務
株主構成	大栄環境株式会社 井本商運株式会社 住井運輸株式会社 株式会社シマブンコーポレーション



■ 事業紹介

木くず処理施設



破碎機



選別機

破碎選別処理施設



破碎機



選別機

廃プラスチック処理施設



定量供給機



減容固化機

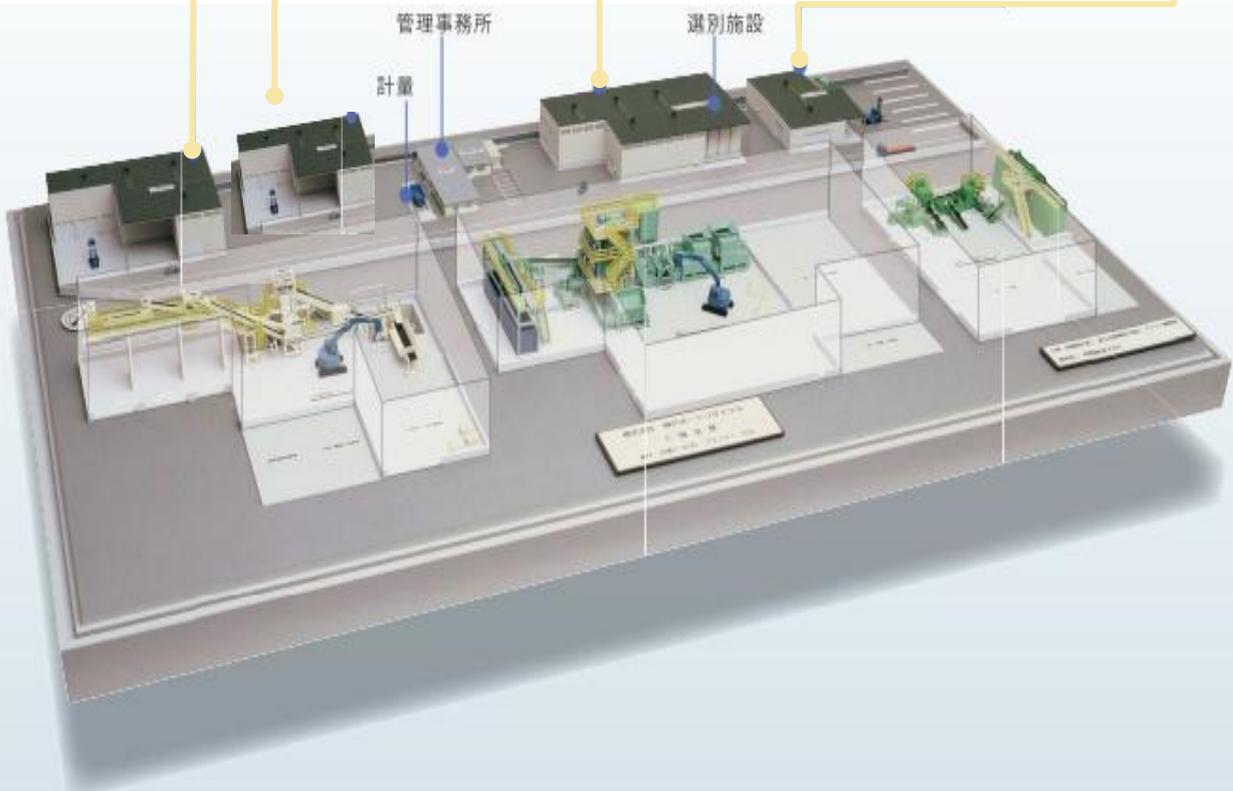
廃タイヤ処理施設



タイヤ破碎機



タイヤ破碎機



■ 処理フロー図



■ 許可品目一覧

許可品目		中間処理		収集運搬		
		神戸市	神戸市	兵庫県	大阪府	京都府
産業廃棄物	廃プラスチック類	○	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○	○
	紙くず	○	○	○	○	○
	金属くず	○	○	○	○	○
	ゴムくず	○	○	○	○	○
	ガラス陶磁器くず	○	○	○	○	○
	繊維くず	○	○	○	○	○
	がれき類	○	○	○	○	○
一般廃棄物	木くず	○				

施設の概要及び許可

	産業廃棄物	一般廃棄物	
施設の種類	① 廃プラ破碎施設 許可番号：第2046号、第2047号 ② 木くず破碎施設 許可番号：第2045号 ③ 廃タイヤ破碎施設 許可番号：第2043号、第2044号 ④ 減容固化施設 届出受理番号：第1080号 ⑤ 混合破碎選別施設 許可番号：第1226号、第2078号	② 木くず破碎施設 (許可番号：第1509号)	
処理能力	① 36.0 t/日 (廃プラスチック類) ② 45.6 t/日 (木くず) ③ 24.0 t/日 (廃プラスチック類) ④ 16.0 t/日 (廃プラスチック類) ⑤ ①～④品目別の処理能力 . . .	① 179.92 t/日 (廃プラスチック類) ② 154.24 t/日 (紙くず) ③ 282.80 t/日 (木くず) ④ 61.60 t/日 (繊維くず) ⑤ 267.36 t/日 (ゴムくず) ⑥ 688.88 t/日 (金属くず) ⑦ 609.60 t/日 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず) ⑧ 902.32 t/日 (がれき類)	② 45.6 t/日
廃棄物の種類 (許可品目)	① 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ② 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ③ 廃プラスチック類 ④ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ⑤ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	② 木くず	

許可内容

管轄	優良認定	許可証	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
神戸市	○	産業廃棄物処分業	第6920098859号	2003年 2月 13日	2030年 5月 10日
神戸市	-	一般廃棄物処分業	神戸市許可一廃第44号	2019年 3月 2日	2025年 3月 1日
神戸市	○	産業廃棄物収集運搬業	第6910098859号	2003年 12月 10日	2030年 5月 10日
兵庫県	○	産業廃棄物収集運搬業	第02801098859号	2003年 1月 8日	2030年 5月 18日
大阪府	○	産業廃棄物収集運搬業	第02700098859号	2016年 7月 25日	2030年 7月 24日
京都府	-	産業廃棄物収集運搬業	第02600098859号	2018年 10月 2日	2024年 10月 1日

積替保管施設

積替え・保管場所	積替保管面積	保管上限	品目
神戸市中央区港島九丁目13番地	114㎡	160.8㎡	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

収集・搬出運搬車両



車両形式	台数	最大積載量	環境保全対策
キャブオーバ (平ボディ車)	1台	3,950kg	シートにて飛散防止
キャブオーバ (ユニック付)	1台	2,000kg	シートにて飛散防止
バン (ウイング車)	1台	2,950kg	密閉式
脱着装置付コンテナ 専用車	1台	3,750kg	シートにて飛散防止
2t ダンプ	2台	2,000kg	シートにて飛散防止
1.5tトラック	1台	1,500kg	シートにて飛散防止
25t ダンプ	4台	10,300kg	シートにて飛散防止

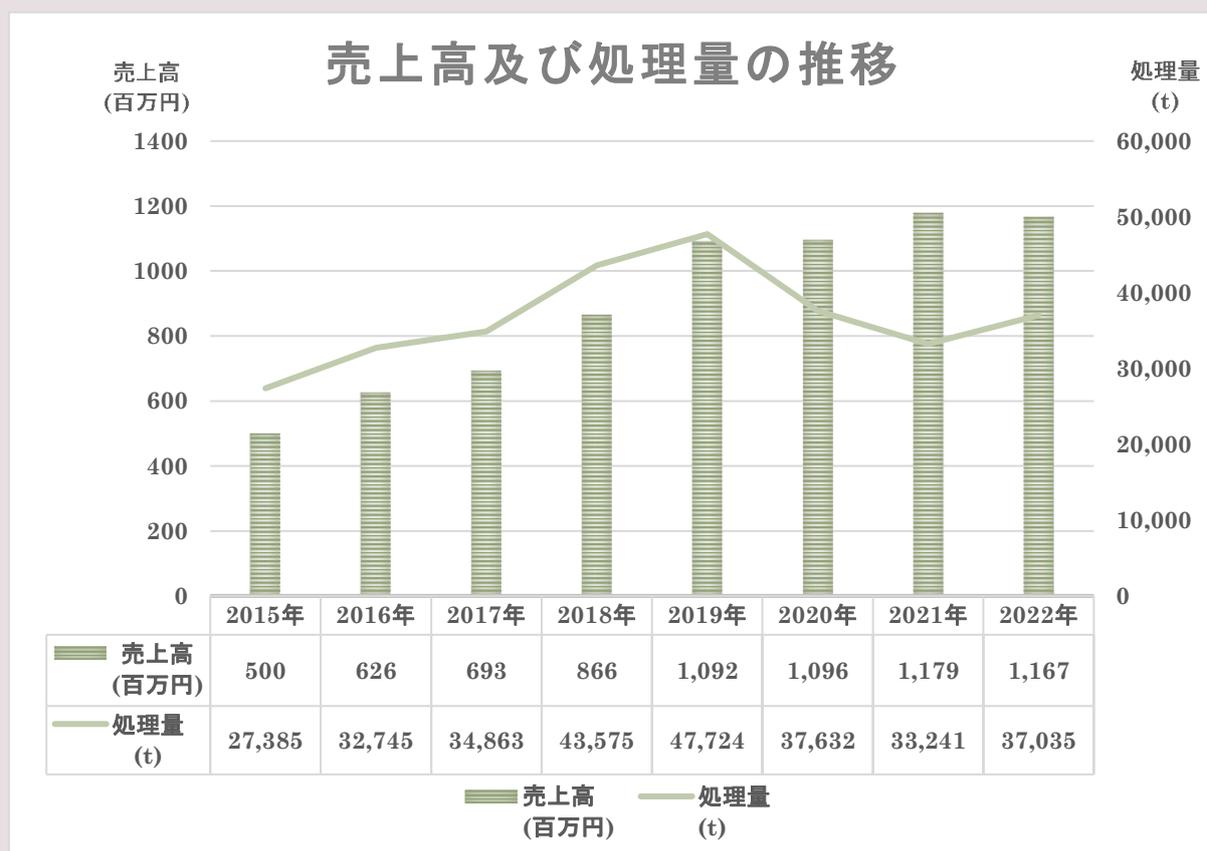
重機の一部ご紹介

車両形式	クラス	台数
ユンボ	0.45 m ³	3台
	0.7 m ³	1台
	0.25 m ³	1台
ショベルローダー	1.8 m ³	2台
フォークリフト	3.5 t	1台
フォークリフト	1.5 t	1台



売上高及び処理量の推移

項目	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
売上高	百万円	626	693	866	1,092	1,096	1,179	1,167	
従業員数	名	21	21	21	23	28	32	47	
敷地面積	m ²	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	
延床面積	m ²	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909	
廃棄物処理量	産業廃棄物処理量	t	32,730	34,850	43,567	46,873	36,933	32,408	37,035
	一般廃棄物処理量	t	15	13	8	851	699	839	20
	処分量合計	t	32,745	34,863	43,575	47,724	37,632	33,241	37,035
	収集運搬量	t	4,032	4,549	4,706	4,228	3,445	2,953	3,085



環境負荷の実績

項目		単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
CO ₂ 排出量		t-CO ₂	354	375	368	333	418	656	788
ガソリン	総使用量	ℓ	2,699	2,349	1,998	1,939	1,379	1,082	1,282
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	6.3	5.5	4.6	4.5	3.2	2.5	3.0
軽油	収集運搬車両使用量	ℓ	23,162	30,366	34,942	33,719	32,506	26,851	28,237
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	60.8	79.7	91.7	88.5	85.3	70.5	74.1
	搬出運搬車両使用量	ℓ	—	—	—	—	—	93,082	101,509
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	—	—	—	—	—	244.3	266.4
	重機使用量 (GTL)	ℓ	39,326	56,579	56,393	47,290	80,719	48,886	92,362
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	103.2	148.5	148.0	124.1	211.8	115.4	218.0
重油	総使用量※①	ℓ	22,942	7,597	1,060	—	—	—	—
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	62.2	20.6	2.9	—	—	—	—
灯油	総使用量※②	ℓ	138	27	73	68	48	—	—
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	343	66	182	168	120	—	—
電気	購入電力量※③	kWh	234,975	234,246	235,252	225,221	232,509	635,707	643,576
	CO ₂ 排出量※④	t-CO ₂	120.8	120.4	120.9	115.8	119.5	223.8	226.5
一般廃棄物排出量※⑤		kg	143	150	132	118	115	114	125
水使用量※⑥		m ³	1,984	1,618	1,331	2,091	1,823	2,309	3,728

※小数点以下四捨五入しています。

※①2018年6月以降重油の使用がなくなった為軽油使用

※②2015年度以前は購入量、2016年度以降は実使用データで取組。2021年度からは維持管理に切替えました。使用なし

※③2016年度以降は自社記録データ電力量（毎日従業員で計測）で取組（2016年7月、子メーター10基設置）

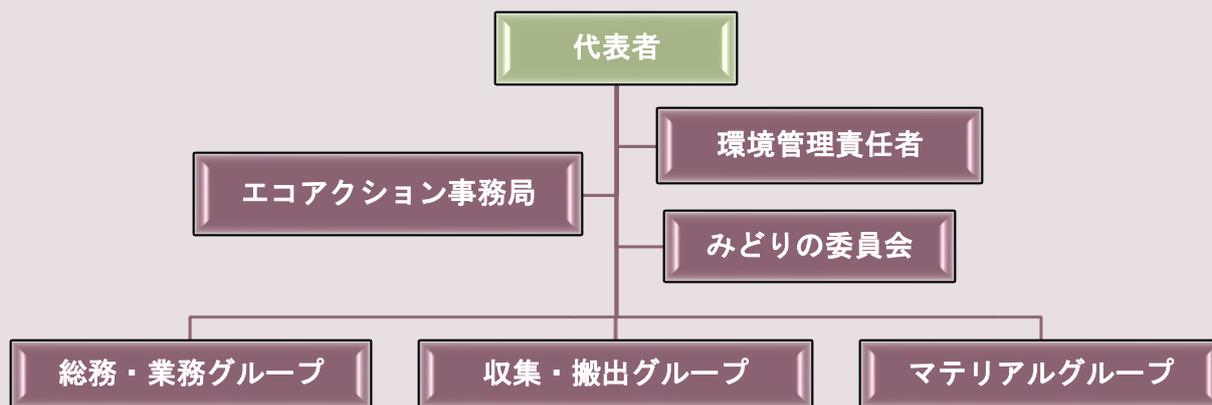
※④CO₂排出係数は2018年度基礎排出係数0.352 kg-CO₂/ kWhを使用

※⑤対象は厨芥ゴミ ※⑥自社記録データ使用量（毎日従業員にて計測）で取組

環境経営目標及びその実績

2022年4月～2023年3月						中期目標		
目標			実績	評価	2023年度	2024年度	2025年度	
二酸化炭素排出量削減	社有車 燃費の向上（ガソリン）							
	2021年度 実績値比 0.1%向上	燃費（km/ℓ）	14.82	14.24	×	2021年度 実績値比 0.2%向上	2021年度 実績値比 0.3%向上	2021年度 実績値比 0.4%向上
		CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	2.51	2.98	×			
	収集運搬車両 燃費の維持管理（軽油）							
	2019年度 実績値比	平均燃費以上（km/ℓ）	6.04	7.38	○	2019年度 平均燃費 以上	2019年度 平均燃費 以上	2019年度 平均燃費 以上
		CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	88.2	74.1	○			
	搬出運搬車両 経費削減と経済的運転（軽油） ※燃費は維持管理							
	2021年度 実績平均値	削減費用（万円）	204.0	210.8	○	2021年度 実績値比 0.2%向上	2021年度 実績値比 0.3%向上	2021年度 実績値比 0.4%向上
		CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	244.3	266.4	×			
	重機 燃料使用量の削減							
2021年度 実績値比 0.1%向上	燃料使用量（kl）	109.3	92.4	○	2021年度 実績値比 0.2%向上	2021年度 実績値比 0.3%向上	2021年度 実績値比 0.4%向上	
	CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	257.9	218.0	○				
電気 使用量の削減（CO ₂ 排出係数は2018年度実績値0.352kg-CO ₂ /kwh）								
2021年度 実績値比 0.2%削減	事務所使用電力（MWh）	27.1	28.9	×	2021年 度 実績値比 0.2%削 減	2021年 度 実績値比 0.3%削 減	2021年 度 実績値比 0.4%削 減	
	CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	9.5	10.2	×				
	処理施設使用電力（MWh）	608.0	614.6	×				
	CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	214.0	216.3	×				
使上 用水 水道	上水 使用量の削減							
	2021年度 実績値比 0.1%削減	上水使用量（ℓ）	3,797.6	3,724.7	○	2021年度 実績値比 0.2%削減	2021年度 実績値比 0.3%削減	2021年度 実績値比 0.4%削減
廃棄物 排出 量 削減	受託廃棄物の再資源化率を向上させ、廃棄物排出量を抑制							
	2021年度 実績値比 0.1%向上	石膏ボード回収率（%）	70%	104.0%	○	2021年度 実績値比 0.1%向上	2021年度 実績値比 0.2%向上	2021年度 実績値比 0.3%向上
		木くず回収率（%）	105%	107.8%	○			
	事業系一般廃棄物の排出量を削減							
	2019年度 実績値比 0.3%削減	事業系一廃排出量（kg）	118.0	125.0	×	2019年度 実績値比 0.4%削減	2019年度 実績値比 0.5%削減	2019年度 実績値比 0.6%削減
用紙類の排出量を削減								
2021年度 実績値比 0.1%削減	コピー用紙使用枚数（枚）	80,677	83,105	×	2021年度 実績値比 0.2%削減	2021年度 実績値比 0.3%削減	2021年度 実績値比 0.4%削減	
場内緑化・場内外美化活動の推進による緑豊かで清潔な事業所づくり								
草花の栽培及び場内外の美化活動計画と実施			実施	○	草花の栽培及び場内外の美化活動計画と実施			

エコアクション 21 組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限

代表者（社長）	<p>環境経営方針の策定及び見直し。</p> <p>人的資源及び専門的な技能、技術、資金の準備並びに配分。</p> <p>環境経営管理責任者・EA21 委員の任命。EA21 マニュアルの承認。</p>
環境管理責任者	<p>環境経営目標・環境経営計画書・実績一覧表の承認。</p> <p>環境経営目標の取組評価と今後の具体策の承認。</p> <p>EA21 委員会への出席及び議題の審議。環境経営レポートの確認・承認。</p> <p>環境への取組の自己チェック評価の承認。</p> <p>環境教育訓練計画の承認。緊急事態の承認。環境関連法規順守状況の承認。</p> <p>問題点是正処置に関する承認。</p> <p>環境コミュニケーションの対応に関する承認。</p>
エコアクション事務局	<p>環境への負荷の自己チェックの作成・環境への取組の自己チェックの作成。</p> <p>環境経営目標一覧の作成。</p> <p>環境経営活動計画、環境経営活動計画実績一覧表の取りまとめ。</p> <p>環境経営目標の取組評価と今後の具体策の取りまとめ。</p> <p>事業所全体に関わる環境経営教育訓練計画の策定及び実施。</p> <p>事業所全体に関わる緊急事態の特定。EA21 マニュアルの作成及び維持管理。</p> <p>環境関連法規の取りまとめ特定、監視及び評価。</p> <p>文書、記録の管理。環境経営レポートの作成。等々</p>
エコアクション委員会 （各グループ責任者）	<p>各担当グループの環境経営システム全般を維持・管理する。</p> <p>目標計画の策定。環境経営教育訓練の策定及び実施。</p> <p>緊急事態の特定。EA21 委員会への出席及び議題の審議、議事録作成。</p> <p>問題点是正処置の実施。等々</p>
取組項目担当者	<p>環境経営活動計画の実施及び是正・改善を遂行。</p> <p>環境関連法規の遵守・実施及び監視・評価。</p>
全従業員	<p>環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を認識し、自主的・積極的に環境活動へ参加。</p>

環境経営計画の取組とその結果

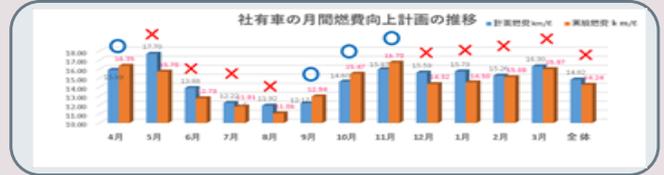
社有車の燃費向上



数値目標：未達成 ×
【活動実績】

実施事項	
①	月末の燃料給油時に、会社にてタイヤの空気圧をチェックし適正値を保つ
②	走行5,000km毎にオイル交換、10,000km毎にエレメントの交換を徹底する
③	エコドライブに関する教育を実施する

実績・評価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画燃費 km/ℓ	15.89	17.70	13.88	12.22	11.92	12.17	14.60	15.97	15.59	15.73	15.26	16.30	14.82
実績燃費 km/ℓ	16.35	15.70	12.73	11.81	11.06	12.94	15.47	16.70	14.32	14.50	15.08	15.97	14.24



【担当者からの一言メモ】

老朽化や、猛暑によるエアコン使用頻度の増大など、燃費が限界に来ているのは否めません。そんな中でも、ゆったりと安全走行を行い、事故を防止し少しでも燃費向上の為に努力を重ねていきたいと思っています。

重機 燃料使用量削減



数値目標：達成 ○
【活動実績】

実施事項	
①	無駄なアイドリングストップの実施
②	日常点検・清掃の強化
③	エコドライブの推進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画燃料使用量	10,656.3	9,262.7	9,779.2	8,892.1	8,186.8	8,804.2	9,166.8	8,704.3	9,514.5	7,567.4	7,626.4	11,117.9	109,278.6
計画燃料使用量(累計)	10,656.3	19,919.1	29,698.3	38,590.4	46,777.2	55,581.4	64,748.2	73,452.5	82,967.0	90,534.4	98,160.7	109,278.6	109,278.6
実績燃料使用量	8,156.0	6,834.0	7,946.0	7,875.0	7,377.0	7,733.0	8,348.0	7,799.3	7,938.2	5,899.0	7,281.0	9,175.0	92,361.5
実績燃料使用量(累計)	8,156.0	14,990.0	22,936.0	30,811.0	38,188.0	45,921.0	54,269.0	62,068.3	70,006.5	75,905.5	83,186.5	92,361.5	92,361.5



【担当者からの一言メモ】

各担当者の意識向上により年間を通して、未達成の月は一度もありませんでした。年間燃料使用量についても計画に対し-15.5%と予想以上に削減できた。次年度は同月実績の0.1%→0.2%削減に努めます。

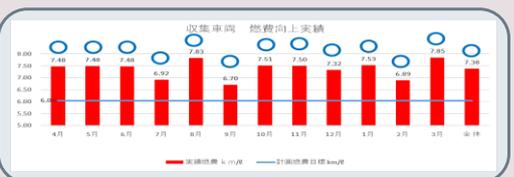
収集運搬車両 燃費の維持管理



数値目標：達成 ○
【活動実績】

実施事項	
①	給油量、走行距離を記録し、燃費データを蓄積する
②	適切な車両点検整備を実施する
③	デジタコデータ有効活用し、エコドライブを推進、実施する

実績・評価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画燃費目標 km/ℓ	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04
実績燃費 km/ℓ	7.48	7.48	7.48	6.92	7.83	6.70	7.51	7.50	7.32	7.53	6.89	7.85	7.38



【担当者からの一言メモ】

最低水準 6.04km/ℓ を下回った月は1か月もありませんでした。燃費が下がっていくこともなく、ドライバーの意欲は維持出来ているものと考えられます。来期も同様の活動を継続していきます。

環境経営計画の取組とその結果

搬出運搬車両

運搬経費の削減

数値目標：達成 ○
【活動実績】



実施事項	
①	給油量、走行距離を記録し、燃費データを蓄積する
②	適切な車両点検整備を実施する
③	高速代の節約など、運搬に係る費用を総合的に削減する

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
目標金額	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥170,000	¥2,040,000
削減金額	¥261,230	¥114,180	¥173,000	¥240,470	¥173,000	¥204,000	¥155,000	¥153,970	¥192,030	¥188,570	¥152,240	¥100,340	¥2,108,030



【担当者からの一言メモ】

実績：210.8万円（月平均 17.5万円）燃費は高速使用に比べ少し悪化傾向にあります。リスクを伴う取組のためドライバーによっては下道走行より高速を使用しつつ燃費向上に努めました。取組としては継続するが、来期は燃費向上を目的といたします。

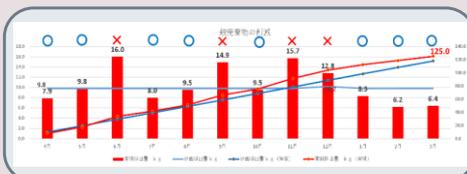
一般廃棄物の削減

数値目標：未達成 ×
【活動実績】



実施事項	
①	分別ボックス、掲示物等で分別を徹底し、各重量を把握する
②	随時、分別ボックスの中身を確認する

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画排出量 kg	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	10.2	9.8	9.8	9.8	118.0
計画排出量 kg(累積)	9.8	19.6	29.4	39.2	49.0	58.8	68.6	78.4	88.6	98.4	108.2	118.0	118.0
実績排出量 kg	7.9	9.8	16.0	8.0	9.5	14.9	9.5	15.7	12.8	8.3	6.2	6.4	125.0
実績排出量 kg(累積)	7.9	17.7	33.7	41.7	51.2	66.1	75.6	91.3	104.1	112.4	118.6	125.0	125.0



【担当者からの一言メモ】

随時、分別ボックスの中身を確認し、マイハシの利用や新入社員に分別方法の説明などを行いました。社内で声掛けを実施、年間では未達になりましたが、社員一人一人の意識が向上しました。今後も、掲示物などでの分別の呼びかけで分別を徹底し、厨芥ゴミの削減を呼びかけます。

紙の使用量削減

数値目標：未達成 ×
【活動実績】



実施事項	
①	コピー機のカウンター数を管理する
②	コピー用紙使用枚数、印刷枚数を記録し、推移を把握する
③	掲示物により、裏紙再利用の促進及び両面・縮小印刷の強化
④	文章、資料等の電子データ化への推進

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画使用枚数	6420	5935	6448	7376	6482	7090	7060	8123	6003	6637	5215	7890	80677
計画使用枚数(累計)	6420	12355	18802	26178	32659	39749	46809	54932	60935	67572	72787	80677	80677
実績使用枚数	8902	6443	7942	6082	6146	6263	5922	5114	7389	4725	6550	11627	83105
実績使用枚数(累計)	8902	15345	23287	29369	35515	41778	47700	52814	60203	64928	71478	83105	83105
裏紙使用枚数	3553	2831	2677	2567	2554	2948	-	1499	1433	920	1066	920	22968



【担当者からの一言メモ】

コピー使用枚数の把握管理と、裏紙使用の推進・声掛け、両面印刷設定の変更などを実施しました。結果未達ではありますが、裏紙の使用で枚数削減はされております。今後は印刷前に確認を促すことや、用紙コストの削減にも努めます。

環境経営計画の取組とその結果

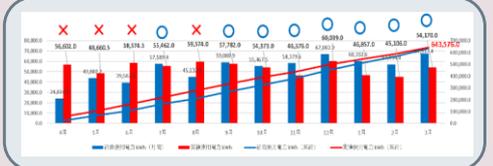
電力の使用量の削減



数値目標：未達成 ×
【活動実績】

実施事項	
①	事務所、処理施設の電気使用量（電灯・動力）の記録推移を把握する
②	各プラント稼働の見直しを図り、効率アップを行う
③	ウォームビズ、クールビズの啓発
④	退社時の電気使用機器のOFFチェック、エアコン使用開始時の室内温度管理の徹底

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画使用電力 kWh(月間)	24,024.0	43,802.2	39,587.4	57,589.4	45,132.8	59,080.9	55,467.5	58,379.6	67,002.9	60,332.6	57,154.8	67,517.4	635,071.3
計画使用電力 kWh(累計)	24,024.0	67,826.1	107,413.5	165,002.8	210,135.7	269,216.5	324,684.0	383,063.6	450,066.5	510,399.1	567,553.9	635,071.3	635,071.3
実績使用電力 kWh	56,602.0	48,660.5	58,574.5	55,462.0	59,574.0	57,782.0	54,373.0	46,376.0	60,039.0	46,867.0	45,106.0	54,170.0	643,576.0
実績使用電力 kWh(累計)	56,602.0	105,262.5	163,837.0	219,299.0	278,873.0	336,655.0	391,028.0	437,404.0	497,443.0	544,300.0	589,406.0	643,576.0	643,576.0
CO2排出量 kg-CO2	19,923.9	17,128.5	20,618.2	19,522.6	20,970.0	20,339.3	19,139.3	16,324.4	21,133.7	16,493.7	15,877.3	19,067.8	226,538.8



【担当者からの一言メモ】

事務所や処理施設の電気使用量を記録し、効率化を図ると共にクールビズ・ウォームビズを啓発するなど、電気の無駄遣いを削減しましたが、目標数値の101%で未達成となりました。廃棄物の搬入量、事務仕事量により変動するので今後は、目標の見直しが必要です。

水の使用量の削減



数値目標：達成 ○
【活動実績】

実施事項	
①	朝礼当番による毎日の水道メーター数値記録異常な使用量になっていないか確認する
②	業務1課による、業務終了後の蛇口閉め忘れパトロールの徹底
③	雨水、上水の施設散水量、生活用水量の把握
④	ポスター等による節水啓発

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
計画水道使用量 m³	121.0	153.5	222.6	357.4	365.4	410.9	426.3	322.4	353.0	253.7	318.5	492.8	3,797.6
計画水道使用量 m³(累計)	121.0	274.5	497.1	854.5	1,220.0	1,630.9	2,057.1	2,379.5	2,732.6	2,986.3	3,304.8	3,797.6	3,797.6
実績水道使用量 m³	418.3	277.4	338.0	358.2	388.2	360.1	315.4	281.7	264.1	195.5	239.6	288.2	3,724.7
実績水道使用量 m³(累計)	418.3	695.7	1,033.7	1,391.9	1,780.1	2,140.2	2,455.6	2,737.3	3,001.4	3,196.9	3,436.5	3,724.7	3,724.7



【担当者からの一言メモ】

毎日の検針と、節水啓発ポスター掲示により個々の節水の意識の向上を図り、使用量が激減しました。今年一年は、現場での上水の使用量に目を向けていたため、事務所の使用量があまり把握できていなかったで、声掛けから始めていき事務所での節水意識も高めていきます。

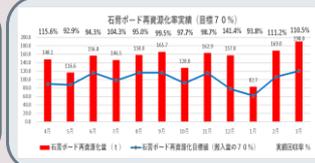
再資源化率の向上 廃棄物排出量の抑制



数値目標：達成 ○
【活動実績】

実施事項	
①	石膏ボード回収率向上に伴う教育の実施
②	木くず回収実績記録と周知の徹底

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
石膏ボード再資源化目標 %	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
実績回収率 %	115.6	92.9	94.3	104.3	95.0	99.5	97.7	98.7	141.4	93.8	111.2	110.5	104.0
木くず再資源化目標 %	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0
実績搬出率 %	106.1	113.6	124.1	105.8	102.6	105.2	93.1	133.0	103.6	129.4	90.5	103.3	107.8



【担当者からの一言メモ】

ヤードで荷下ろし・展開・土間選別を実践し、搬出先の担当者と密に連絡を取り情報共有を行った中で再資源化に向けた認識を高めるとともに、袋物(フレコン・土のう)に混入した木くずも回収するよう試み、早め早めの搬出手配を心掛け、以前とは見違えるほど変わり搬出量も大きく増量しました。

その他の環境活動

【エコアクション 21 中央事務局より

永年継続事業者感謝状 受贈】

コロナ禍が長期化する中、社会の変容、経済環境の変化が著しい平成から令和への激動の時代にあってもなお長年にわたり環境経営の視点に立ち事業活動を進めてきたことに対し感謝状をいただきました。認証取得当初は試行錯誤しながらの活動でしたが、感謝状を手にも満面の笑みの寄尾社長（環境管理責任者兼務）です。



【オリジナル環境エコキャラクター登場!!】

環境・経営（廃棄物・リサイクル）を身近なものに感じてもらう！という思いで従業員とその家族を対象に、オリジナル環境マスコットの募集を行いました。

応募総数 8 作品の中から見事ダントツの投票数で選ばれたのが、その名も「パク丸」(左) 廃棄物をパクパク破碎し、吐き出したものは完全リサイクル化、というスゴ腕の妖精？！

パク丸くんが右手にいつも握っているのはシンボルフラワーのピンクの芝桜。社内のどこにでも出没する愛嬌たっぷりのマスコットが誕生しました。社内のあちこちで見かけるパク丸くん、いるだけでほんわか♡つつい目がいってしまう存在で、社内の空気を和ませてくれます。

【誰でも簡単に取り組める環境アクション 環境ラリーの表彰】

誰にでも簡単に取り組める 14 項目の環境活動をラリー形式にして、毎年 6 月の環境月間にランク表彰。
今年の上位入賞者で記念撮影📷 (右上)
今期はニューフェイスが上位表彰となり皆の意識も向上。
サステナビリティな日常を目指す熱い思いの従業員に拍手👏



環境川柳コーナー

SDGsと環境に関する従業員の意識付けを目的として、毎月SDGsに関連するテーマをお題として、環境川柳を募集しており、お題のSDGs目標に頭をひねって珠玉の一首を投稿しております。

今回、その中より一部をご紹介します。

どれも、投稿者の個性の光る名句たちであります。



みどりの活動

みどりの活動情報誌【GREEN NEWS】

みどりの委員から発信される情報誌【GREEN NEWS】

社内で行われているみどりの活動や管理している草花の

マル秘情報等が掲載されております。



毎月実施している【クリーンデー】

みどりの委員が主となり毎月行っている場内外の美化緑化。

今期は会社周辺のゴミ拾い・草抜き、社内の花の植え替え・野菜の栽培等、計12回実施しました。

【担当者からの一言】

大量に生えてくる雑草に対抗し、場内美化を保っています。また、会社周辺のゴミ拾いを実施し地域の美化にも貢献しています。季節の花を植えることで1年を通してきれいな花を眺めることができ、全員参加での活動や毎日の水やりで植物に対する意識や興味も高まりつつあります。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	要求実施事項
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬 中間処理 一般廃棄物中間処理
計量法	計量器の法定検査、計量証明事業者報告
大気汚染防止法関連 兵庫県条例	設置届出等（条例指定施設）
消防法	指定可燃物等の届出、防火設備等、点検 防火対象物等、点検届出 など
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（重機含む）簡易点検・法令点検
労働基準法	36 協定届出等
労働安全衛生法	粉塵濃度測定、照明設備の点検および照度測定 ストレスチェックシートの提出等
金属くず商・古物商	届出及び変更届出の提出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



私たちは、コンプライアンスの遵守に努めます！

【緊急事態訓練・教育】

緊急事態の想定：地震による火災・津波避難訓練（火災発生の消火訓練）

実施日：2022年9月6日

実施場所：(株)神戸ポートリサイクル内

参加者：全従業員

実施内容：シナリオに沿って通報・避難・消火訓練

評価：○

シナリオの変更の必要性 あり なし

避難訓練未経験者がいる中、短時間での避難が完了。

オリジナルのシナリオが定着し、有事の際の万全な対応が身につけてきました。

実施の様子

今年は破砕機からの油脂流出対応訓練も組み込み
マンネリ化がなくなり緊張感が増しました。



緊急事態の想定：収集運搬時、廃棄物からの飛散

実施日：2022年6月10日

実施場所：場内駐車場・バンプール

参加者：収集・搬出グループ全員

実施内容：正しいシート掛け・外し

評価：○

シナリオの変更の必要性 あり なし

収集運搬時に想定される緊急事態で最も重要な飛散養生。毎年行っている教育であるシート掛けの基本的なやり方や注意点を説明・確認しました。

実施の様子

正しいシート掛けや固縛の説明動画を視聴し、重要性
やリスクを再認識してもらい、現場で実施しました。(右写真)



年間教育計画表

年度	教育種別	教育内容	実施時期	実施場所	実施者	受講者	評価
2022年度	安全衛生教育	安全衛生教育(火災・地震・津波)	9月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(油脂流出)	9月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(飛散)	6月	本社	安全衛生担当	収集・搬出グループ	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(熱中症)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(ドライバー)	7月	本社	安全衛生担当	ドライバー	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(新入社員)	7月	本社	安全衛生担当	新入社員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(環境)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(労働時間)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(労働安全衛生)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(労働安全衛生)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(労働安全衛生)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○
	安全衛生教育	安全衛生教育(労働安全衛生)	7月	本社	安全衛生担当	全従業員	○

※グループ毎に、年間スケジュールに沿って教育を行っております。

2022年度実施教育件数：総務・業務グループ 8件
収集・搬出グループ 11件
マテリアルグループ 7件

各 Gr での教育風景



代表者による全体の評価と見直し・指示

環境関連法規などの順守状況、教育訓練の実施、内外部コミュニケーションの実施など、環境活動計画に沿って PDCA サイクルのもとすべて実施・是正が行われています。

昨年同様に問題なく継続的な改善活動をお願いします。

環境ラリーの活動に於いては、積極的に活動の強化を図り、従業員一人ひとりが環境に対する意識の向上が図られ、大きな成果を上げてくれています。

今後もさらなるレベルアップを図り、頑張ってください。

2022.04.01

代表取締役 兼任 環境管理責任者 **寄尾 延夫**

環境経営方針 変更なし 変更あり

環境経営目標 変更なし 変更あり

実施体制 変更なし 変更あり

資源に変えるチカラ、

自然に還すチカラ。

 **大栄環境グループ**

